

令和7年(2025)学校自己評価結果に基づく学校関係者評価一覧

池上学院グローバルアカデミー専門学校

自己評価項目			評価値	学校自己評価	学校関係者評価
Ⅰ 教育理念・目標	1	理念・目標・育成人材像は適切に定められているか。	5.0	理事長・校長から、説明がなされている。・教育理念を根底に置き年度目標を策定している。一貫した育成人材像を定めている。	教育理念に基づき策定されており、一貫して社会的自立を目指すものとなっている。社会的な支援策が乏しいグリーゾーンの学生の教育機関としての役割をになっているが、学校が休校することは、在校生および卒業生の保護者から残念がられている。本学の教育が他の学校では対応していない教育なので、支援等が必要な学生にとっては必要な学校である事が十分周知されている事は評価出来る。
	2	社会のニーズ等を踏まえた学園・学校の構想となっているか。	5.0	発達障害など、困り感がある子供が増えている実態がある。それにたいして、高校を卒業後にそういった生徒を教育する教育機関は少ない。本校では、そのニーズを捉えていた。・社会のニーズであるコミュニケーション力と情報スキルを養成・活用するものになっている。	
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	5.0	学校が休校することは、在校生および卒業生の保護者から残念がられている。本校がやっていることは、他の学校ではやっていないので、休校したら困っている当事者の方はどうするか心配をされている。・学校体験会、面談等を通じ十分に周知している。	
Ⅱ 学校運営	4	理念・目標等に沿った運営方針が適切に策定されているか。	4.0	理事長・校長から、説明がなされている。・運営方針が適切に策定され、職員に周知している。・前年同様	運営方針が策定され職員には周知されている。運営組織は校務分担が広がる傾向があるが、学生サービスを基本におき、対応している事は評価できる。また、情報共有は、学園全体で確認できる情報ツールを使用し、有効に活用されている。一般企業へのインターンシップを実施し、企業が求めている人材の育成に力を入れている。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、産業医との連携により総合力を高めることに寄与している。
	5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	4.0	少人数でやっているため兼任が多い。・学園組織図として明確に示されており有効に機能している面がある	
	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか。	4.0	学内ネットを完備、学生用サーバーの使用、遠隔授業などに対応している。・情報システムの活用により、効率的に職員間の情報伝達と共有が行われている。	
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	4.0	現在、起業されている方を時間講師として招いたり、インターンシップ先から助言を頂きながら授業を行っている。・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、産業医といった外部の専門家と連携することでより良い教育活動につなげている。	
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4.3	Webサイトにより情報を公開している。・適切に情報公開がなされている。	
Ⅲ 教育活動	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間が確保されているか。	4.0	修業年限が2年間であるため、その期間に教育できることは限られてくる。その中で、専門技術と社会で必要なコミュニケーション能力などを学べるようなカリキュラムを組んでいる。・学生の社会的自立に向けて到達レベルを設定し、必要な学習時間を確保している。	学生の特性から、75分授業や、長期休業を少なくするなど、集中しやすい時間割や社会生活をして行く上での、教育体制を取っている。また専門の教員を配置し、実践的な教育を行い。授業規律として挨拶を重視し、指導体制の充実を図っている。指導力アップを進める必要があることから、その一つとして学園全体の年間計画として職員研修の場を設けている。業界で活躍している講師に来てもらい授業を行っている。その他、インターンシップを活用して企業連携を図っている。少人数の学校だが、専門教育機関を担っている気概が感じられる。
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.3	少人数ながら、例年通り行事を行っている。・学生全員が参加し、職員とともに楽しめる行事を企画、運営している。	
	11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか。	4.3	複数の教員を入れて授業をするなどの工夫をしている。・授業規律として挨拶を徹底している。	
	12	関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか。	4.0	実践的な時間講師を招いたり、インターンシップなどにより、外部の方の意見を取り入れるようにしている。・教育課程の見直しを行っている。	
	13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	4.0	成績会議により、最終評価を決めている。	
	14	授業評価の実施、評価体制があるか。	4.0	授業に対する評価は、学生の成長した結果から評価している。・基準は明確になっている。	
	15	職員の能力開発のための研修が行われているか。	4.0	外部・内部研修を行っている。・職員研修を行っている。	
	16	クラス担任と科目担当の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか。	4.0	クラス担任と科目担当が話し合いながら、授業を進めている。・職員間で情報を密に共有し、クラス担任だけでなく職員全員で学生の指導に当たっている。	
Ⅳ 学修成果	17	就職率の向上のため計画的な取り組みがされているか	4.5	個別面談、三者面談、インターンシップ、求人紹介、面接指導、履歴書・エントリーシート作成など、担任が指導している。・学生ひとりひとりに対して継続的な就職支援を行っている。	進路担当とクラス担任が協力して、個別に対応している。また、就職に向けて学生ひとりひとりに対して必要な指導を丁寧に行っている。卒業生は就労を通して社会に参加している。
	18	退学率の低減は図られているか。	4.7	退学者がでないように、学生の様子を常に観察し感じとっている。・保護者との連携を密に行うことで低減を図っている。	
	19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価に注目し積極的に奨励しているか	4.5	社会で活躍できる人材の育成を目的としている。・学生には社会経験を積極的に持つよう、アルバイトを推奨している。	
	20	学生相談に関する体制は整備されているか。	4.7	担任をはじめ、全教員と相談できるように体制を整えている。・十分整備されており、ひとりひとりの学生に対して対応できている。	担任をはじめ、全教員と学生が相談できる事など学校全体でサポートが日頃から出来るようにされている。また定期的に面談を行っている。修学支援新制度など公的な支援を受けられる機関要件認定校である事から、保護者の経済状況が極めて厳しい場合でも学習できる体制を整えて
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4.0	奨学金や修学支援などの申請を行い、分割納入を認めるなどの措置を行っている。・入学時の学費免除制度がある。	

Ⅴ 学生支援	22	保護者と適切に連携しているか。	5.0	親への連絡は密にしている。・保護者との協力体制は入学時に強く要請しており、連携が不可欠である。・連携出来ている。	いる。保護者と連携することによって、学生への指導を適切に出来るようにしている。保護者と一緒になって学生を育てていく取り組みは池上学園ならではの特色である。学生支援の観点から社会のニーズは捉えており、創意工夫して教育環境の整備に努めている事は評価できる。
	23	卒業生への支援体制はあるか。	5.0	卒業生や卒業生の親から相談があれば、直接面談をしてアドバイスをしている。・現在卒業生が相談できる体制はある。	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか。	4.7	インターンシップや面談を繰り返し行い、働くことに関して考える事を促し就職指導の時間だけでなく、様々な場面で職業観の育成を図っている。	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4.5	近年、社会問題になっている発達障害、不登校経験者を引き受け、教育をしている。・経験値の少ない学生に対して色々な経験ができるよう学習環境や教材の工夫に努めている。	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	5.0	答えを与えるのではなく、自分で考えられるように常に指導をしている。・普段の授業や行事、面談などが自己理解、自己啓発、自己実現の方策になっている。	
Ⅵ 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4.0	教室の数は十分であるが、学習の質確保のためにはさらなる充実が求められる。	学習の質向上を図るため。工夫しながら効果的な活用を努めている。
	28	実習室の効果的な活用が図られているか。	4.0	授業内容に応じて教室利用を図っている。	
	29	防災に対する体制は整備されているか。	4.0	防火設備の点検など、法令に基づいて整備されている。・防災研修を行い防災に対する意識は高めている。	
Ⅶ 学生募集	30	社会のニーズに応じた学生の募集が適正に行われているか。			
	31	学生募集活動において、教育成果は十分に伝えられているか。			
Ⅷ 財務	32	中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。			
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。			
Ⅸ 法令等の遵守	34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	5.0	施設・職員の配置など、法令等に遵守している。・適正に運営されている。	法令を遵守するため、情報を公開し、適正に扱う努力と注意を払っている。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	5.0	外部に資料を持ち出さないように周知している。・学園として個人情報保護に対する規程を作成し周知している。	
Ⅹ 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.5	中学生の進路研究などに協力をしていた。・学校のPCを活用し、進路探究や資格取得の活動に寄与した。	中学生への進路意識向上のため、社会貢献として積極的に協力をして来た。学生と職員で学校近隣のごみ拾いを行っている。
	37	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.5	学生と職員で学校近隣のごみ拾いを行っており、ボランティア活動を推奨している。	
全体平均 4.5 〈評価基準〉4段階 適切－5 ほぼ適切－4 やや適切－3 不適切－2（わからない－1）					